

<目次> 平成30年度 主要事業等実施の状況及び事務事業評価結果（一般会計）

7 款（商工費）

款	項	目	事務事業名	頁
7	1	1	商工業振興・育成事業	1
7	1	1	市内購買促進事業	4
7	1	1	地元産品販売拡大事業	6
7	1	1	新エネルギー利活用	8
7	1	2	企業誘致事業	9
7	1	3	観光イベント推進事業	10
7	1	3	観光振興推進事業	12
7	1	4	陶芸センター管理運営業務	15
7	1	4	健民センター園地管理運営業務	16
7	1	4	健民センターオートキャンプ場管理運営業務	17
7	1	4	滝里湖オートキャンプ場管理運営業務	18
7	1	4	健民センター管理運営業務	20
7	1	4	国設芦別スキー場管理運営業務	22
7	1	4	道の駅等管理運営業務	24
7	1	5	消費者対策事業	26
7	1	6	カナディアンワールド公園管理運営業務	28
7	1	6	株式会社星の降る里芦別の債務弁済協定調停に基づく償還	29

款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工振興費
事務事業名	商工業振興・育成事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
280,057,541	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				108,175,000	171,882,541
事業目的	地域における商工業の総合的な改善発展を目指し、地域経済の振興発展を図る。				
事業内容及び成果	<p>1 中小企業者等に対する補助金の交付、業務委託等</p> <p>(1) 芦別商工会議所交付金 5,000,000円</p> <p>(2) 駅前南北駐車場除排雪業務委託 990,576円(実績 除雪回数22回、排雪回数1回)</p> <p>(3) 企業振興事業補助金 8,175,000円</p>				
事業区分	事業内容	補助先又は店舗名	補助金額		
人材育成事業	「第15回 日本口腔ケア学会総会・学術大会 in福岡」(福岡県福岡市)に参加	はぎわら歯科クリニック	234,000円		
	中小企業大学校旭川校で行われる「実践で学ぶ5Sと目で見える管理」に参加	滝澤ベニヤ(株)	27,000円		
	自社所有の自動裁断機(CAM)のメンテナンスができる職員の育成を目的とした講習(和歌山県和歌山市「梶島精機製作所 CAM/CAD講習」に参加)	日本ソーイング(株)	53,000円		
販路開拓促進事業	自社開発のオリジナル合板「ペーパーウッド」を用いたインテリア製品等の出展・商談(アメリカ・ニューヨーク「NY NOW」に参加)	滝澤ベニヤ(株)	1,000,000円		
	自社開発のオリジナル合板「ペーパーウッド」を用いたインテリア製品等の出展・商談(韓国・ソウル「KOREA BUILD 2019」に参加)	滝澤ベニヤ(株)	384,000円		
起業化支援事業	店舗新装工事	末永 紗織	3,000,000円		
空き地又は空き店舗活用事業	建物の改修工事及び家賃補助	サンタピラ(岡本 知)	工事		
			1,126,000円		
			家賃		
			55,000円		
店舗リニューアル事業	トイレ改修、Wi-Fi用LANケーブル・発信機増設工事	秋田屋旅館(阿部真久)	688,000円		
	外壁・店舗入口・店舗内床改修工事	(有)エムケー・サービス	1,608,000円		
合 計					8,175,000円

次項へ続く

(4) 企業振興奨励金 160,763,000円

交付先	区分	取得額	交付率	交付年度	補助金額
北日本精機(株)	償却資産	39,359,655円	30%以内	第2年度(30%)	3,397,000円
(株)荒木製作所	償却資産	5,000,000円	30%以内	第2年度(30%)	450,000円
北日本大旺(株)	償却資産	5,538,124円	30%以内	第2年度(30%)	498,000円
大旺鋼球製造(株)	家屋・償却資産	1,013,096,733円	50%以内	第1年度(70%)	70,000,000円
北海道電子工業(株)	償却資産	49,616,815円	30%以内	第1年度(70%)	10,419,000円
(株)メモコーポレーション	償却資産	22,256,299円	30%以内	第1年度(70%)	4,378,000円
北日本精機(株)	償却資産	223,033,828円	50%以内	第1年度(70%)	70,000,000円
北日本大旺(株)	償却資産	7,722,400円	30%以内	第1年度(70%)	1,621,000円
合 計					160,763,000円

2 中小企業者等が必要となる融資資金に係る融資指定金融機関への原資預託、融資に係る保証料の補給

(1) 融資指定金融機関に対する原資預託金

- ① 預託金 100,000,000円
- ② 通常融資枠 300,000,000円 (原資預託金の3倍)
- ③ 特別融資枠 200,000,000円

(2) 貸付内訳 (年度末融資残高)

区分	件数	貸付金額
運転資金	56件	194,527,000円
設備資金	24件	119,306,000円
合 計	80件	313,833,000円

(3) 貸付内訳 (年度内融資額)

区分	件数	貸付金額
運転資金	32件	185,300,000円
設備資金	6件	35,900,000円
合 計	38件	221,200,000円

(4) 助成内容

区分	件数	補給額
保証料	41件	4,309,694円

3 芦別ポイントカード行政連携事業

対象事業名	利用者数	発行ポイント数
健康教室への参加	451人	12,660ポイント
介護予防事業への参加	6,621人	257,700ポイント

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A 継続</span> <span>B 見直し</span> <span>C 廃止・終了</span> </div>			
備考	<p>なお、行財政改革を進めるにあたり、令和2年度に向けて助成制度の見直しを行う。</p>			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工振興費																																						
事務事業名	市内購買促進事業																																										
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																										
20,929,711	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																						
			20,900,000		29,711																																						
事業目的	消費の落ち込み、売上げの減少、市外への購買力流出を防ぐため「買い物は地元で・地元商品愛用強調月間ドリームフェスタ」及び「スーパープレミアム（割増特典付）商品券発行事業」を実施し、商店街、市民一体となり、疲弊している商店街等に活力と消費の回復を図るとともに、市内全域における消費拡大誘導による地域経済の活性化を図る。																																										
事業内容及び成果	<p>事業実施に対する補助金の交付</p> <p>(1) ドリームフェスタ実施事業</p> <table border="1"> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成30年10月26日(金)～平成31年2月28日(木)</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>平成30年12月1日(土)～平成31年1月3日(木)</td> </tr> <tr> <td>参加店</td> <td>78店</td> </tr> <tr> <td>販売実績</td> <td>121,996,000円</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,485,631円</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>967,711円</td> </tr> <tr> <td>交付先</td> <td>芦別商工会議所</td> </tr> </table> <p>(2) スーパープレミアム（割増特典付）商品券発行事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発行内容</td> <td>1万2千円の商品券を1万円で販売</td> <td>発行総額</td> <td>120,000,000円</td> </tr> <tr> <td>発行総数</td> <td>10,000セット</td> <td>利用実績</td> <td>119,772,000円</td> </tr> <tr> <td>利用期間</td> <td>平成30年10月15日(月)～ 平成30年12月31日(月)</td> <td>利用率</td> <td>99.810%</td> </tr> <tr> <td>換金期間</td> <td>平成30年10月15日(月)～ 平成31年1月23日(水)</td> <td>未利用額</td> <td>228,000円</td> </tr> <tr> <td>交付先</td> <td>芦別商工会議所</td> <td>市補助額</td> <td>19,962,000円</td> </tr> </tbody> </table>					事業期間	平成30年10月26日(金)～平成31年2月28日(木)	開催期間	平成30年12月1日(土)～平成31年1月3日(木)	参加店	78店	販売実績	121,996,000円	総事業費	3,485,631円	補助金額	967,711円	交付先	芦別商工会議所	区 分	内 容	区 分	金 額	発行内容	1万2千円の商品券を1万円で販売	発行総額	120,000,000円	発行総数	10,000セット	利用実績	119,772,000円	利用期間	平成30年10月15日(月)～ 平成30年12月31日(月)	利用率	99.810%	換金期間	平成30年10月15日(月)～ 平成31年1月23日(水)	未利用額	228,000円	交付先	芦別商工会議所	市補助額	19,962,000円
事業期間	平成30年10月26日(金)～平成31年2月28日(木)																																										
開催期間	平成30年12月1日(土)～平成31年1月3日(木)																																										
参加店	78店																																										
販売実績	121,996,000円																																										
総事業費	3,485,631円																																										
補助金額	967,711円																																										
交付先	芦別商工会議所																																										
区 分	内 容	区 分	金 額																																								
発行内容	1万2千円の商品券を1万円で販売	発行総額	120,000,000円																																								
発行総数	10,000セット	利用実績	119,772,000円																																								
利用期間	平成30年10月15日(月)～ 平成30年12月31日(月)	利用率	99.810%																																								
換金期間	平成30年10月15日(月)～ 平成31年1月23日(水)	未利用額	228,000円																																								
交付先	芦別商工会議所	市補助額	19,962,000円																																								

次項へ続く



款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工振興費
事務事業名	地元産品販売拡大事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,684,102	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					1,684,102
事業目的	地元産品を広く市内外に紹介するとともに、積極的に販路の拡大を図ることにより、地域における産業・経済の活性化を図る。				
事業内容及び成果	<p>1 市外イベントへの出展によるPR・販売活動</p> <p>(1) 「そらち・デ・ビュー・フェア in 札幌」への出展 平成30年7月31日(火)～8月1日(水) 札幌市(札幌駅前通地下広場)</p> <p>(2) 「北の恵み食べマルシェ2018」への出展 平成30年9月15日(土)～17日(月) 旭川市(買物公園)</p> <p>(3) 「なかそらち大収穫祭」への出展 平成30年9月16日(日)～17日(月) 砂川市(ハイウェイオアシス)</p> <p>(4) 「さっぽろオータムフェスト2018」への出展 平成30年9月27日(木)～30日(日) 札幌市(大通公園)</p> <p>2 芦別にゆかりのある市外企業や個人を訪問、または芦別へ訪問された際の手土産品として地元産品を積極的に活用し、広くPRした。</p> <p>3 海外販路開拓事業</p> <p>事業名 「香港フードエキスポ2018」 期 間 平成30年8月16日(木)～18日(土) 開催地 中華人民共和国 香港特別行政区 参加企業 ㈱芦別RICE 来場者数 21,668人 出展社数 1,562社</p>				

次項へ続く





款	7 商工費	項	1 商工費	目	1 商工振興費
事務事業名	新エネルギー利活用事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	地域新エネルギービジョン、環境基本条例及び環境基本計画に基づき、本市の豊かな自然環境を活用した新エネルギーの有効利用を図る。				
事業内容及び成果	導入済みの木質バイオマスボイラーの燃料となる原材料の安定的な確保に向け、関係機関との連携を図った。				

< 事務事業評価結果 >

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続                      B 見直し                      C 廃止・終了			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 企業誘致費
事務事業名	企業誘致事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
1,411,098	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				1,000	1,410,098
事業目的	企業誘致を積極的に推進することにより、本市経済の活性化、雇用の確保及び地域振興に資する。				
事業内容及び成果	<p>企業誘致委員会の開催、企業訪問の実施等</p> <p>(1) 企業訪問 道外(関東・東海)5社、道内 1社</p> <p>(2) 北海道ビジネスフォーラム参加 平成30年7月23日(月)(東京都 参加企業 延べ96社)</p> <p>(3) 北海道ビジネスフォーラム参加 平成30年10月25日(木)(愛知県 参加企業 延べ58社)</p> <p>(4) 芦別工業団地清掃等管理業務委託(草刈2回、排水溝清掃1回) 626,400円</p>				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 星の降る里観光費
事務事業名	観光イベント推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
8,669,982	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
			7,600,000	1,000,000	69,982
事業目的	健夏まつり、キラキラ☆フェスタあしべつの開催を支援し、観光客の誘致活動及び市民活力の向上を図る。				
事業内容及び成果	健夏まつりの開催委託、キラキラ☆フェスタあしべつ実行委員会に対する開催補助金の交付 (1) 第49回星の降る里・芦別健夏まつり開催業務委託(委託先 星の降る里・芦別健夏まつり実行委員会)				
実施期間	場所	事業概要		委託金額	
平成30年7月21日(土) ～22日(日)	駅前通ほか	土曜日 市内小・中・高等学校演奏会、 民謡のつどい、歌謡のど自慢、 健夏山笠ほか 日曜日 快盗戦隊ルパンレンジャーVS 警察戦隊パトレンジャーショー、 芦別獅子舞、芦別子供太鼓演奏 会、芦別市民吹奏楽団演奏会、 千人踊りほか 参加人員 延5,003人		5,669,982円	
(2) キラキラ☆フェスタあしべつ開催補助(補助先 キラキラ☆フェスタあしべつ実行委員会)					
実施期間	場所	事業概要		補助金額	
平成30年8月4日(土)	国設芦別 スキー場	芦別高校の生徒・市内の活動団体のステー ジイベント、花火、レーザーショーほか 観客数 延5,650人		3,000,000円	

次項へ続く



款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 星の降る里観光費																		
事務事業名	観光振興推進事業																						
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																						
18,065,822	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																		
			1,100,000	1,429,064	15,536,758																		
事業目的	<p>観光客の来訪促進や星の降る里芦別の魅力を発信するため、広域PRの強化を図るほか、芦別観光協会などの関係団体と連携を図り、観光事業の発展や観光客の誘致による産業経済の発展に寄与する。また、あさひかわ観光誘致宣伝協議会などの市外関係団体とも広域的な連携を深め、観光客の誘致に効果的な体制の整備を図り、各種共同事業を展開する。</p>																						
事業内容及び成果	<p>1 観光パンフレットの作成、配布及びホームページの活用等による観光情報発信</p> <p>(1) 星の降る里芦別観光事業の委託(委託先 (一社) 芦別観光協会)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託業務名</th> <th>主な事業名</th> <th>実施期間</th> <th>事業の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星の降る里・芦別村民募集業務</td> <td>村民募集・受付業務</td> <td>通年</td> <td>平成30年度会員 279人</td> </tr> <tr> <td>星の降る里観光宣伝事業等業務</td> <td>           1 観光宣伝戦略業務            2 観光プロモーション活動業務            3 景勝地等案内看板設置業務         </td> <td>通年</td> <td>           1 STVラジオ「しゃかりき!ようへい商店」スポンサー業務、北海道スイーツライドin北&amp;中そらち運営業務、芦別観光専用ホームページ維持更新業務、芦別観光パンフレット作成業務            2 チカホ北大通広場村民・観光プロモーション用務、THEサッポロビアガーデン観光プロモーション用務、飲食店マップ作成業務            3 景勝地案内看板設置・撤去業務         </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 観光施設整備及び維持管理            事業内容 ① 観光案内板・歓迎塔等の電気料負担            ② 旧三井芦別鉄道展示場の土地借上料負担</p> <p>(3) 観光・イベント周知宣伝事業</p> <p>① 観光イベント周知</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>部数</th> <th>配布先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベント等PRのぼり設置</td> <td>17枚</td> <td>設置先: こだま公園</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 観光周知、宣伝事業の実施            ア 各種新聞、雑誌広告掲載            イ (一社) 芦別観光協会と連携し、チカホ北大通広場にて村民・観光プロモーション、THEサッポロビアガーデン観光プロモーションを実施</p> <p>③ 観光関係団体との連携、活動促進            ア (一社) 芦別観光協会との連携            イ (公社) 北海道観光振興機構との連携            ウ あさひかわ観光誘致宣伝協議会との広域的な連携            エ 東空知観光周遊ルート創出推進協議会による広域的な連携</p>					委託業務名	主な事業名	実施期間	事業の概要	星の降る里・芦別村民募集業務	村民募集・受付業務	通年	平成30年度会員 279人	星の降る里観光宣伝事業等業務	1 観光宣伝戦略業務 2 観光プロモーション活動業務 3 景勝地等案内看板設置業務	通年	1 STVラジオ「しゃかりき!ようへい商店」スポンサー業務、北海道スイーツライドin北&中そらち運営業務、芦別観光専用ホームページ維持更新業務、芦別観光パンフレット作成業務 2 チカホ北大通広場村民・観光プロモーション用務、THEサッポロビアガーデン観光プロモーション用務、飲食店マップ作成業務 3 景勝地案内看板設置・撤去業務	区分	部数	配布先	イベント等PRのぼり設置	17枚	設置先: こだま公園
委託業務名	主な事業名	実施期間	事業の概要																				
星の降る里・芦別村民募集業務	村民募集・受付業務	通年	平成30年度会員 279人																				
星の降る里観光宣伝事業等業務	1 観光宣伝戦略業務 2 観光プロモーション活動業務 3 景勝地等案内看板設置業務	通年	1 STVラジオ「しゃかりき!ようへい商店」スポンサー業務、北海道スイーツライドin北&中そらち運営業務、芦別観光専用ホームページ維持更新業務、芦別観光パンフレット作成業務 2 チカホ北大通広場村民・観光プロモーション用務、THEサッポロビアガーデン観光プロモーション用務、飲食店マップ作成業務 3 景勝地案内看板設置・撤去業務																				
区分	部数	配布先																					
イベント等PRのぼり設置	17枚	設置先: こだま公園																					

次項へ続く

④ 駅前歓迎塔の清掃美化

本町老人クラブ明友会への委託

委託業務名	主な事業名	実施期間	事業の概要	委託金額
駅前歓迎塔清掃 美化等管理業務	花壇等清掃美 化管理業務	通 年	① 駅前歓迎塔等清掃管理 ② 曙通イルミネーション等花壇清掃	195,000円

(4) (一社) 芦別観光協会への団体運営補助 13,633,613円

(5) 学生地域定着推進事業

江別市内の大学から学生を招聘し、観光施策の検証事業を実施した。

① 対象大学

- ア 酪農学園大学
- イ 札幌学院大学
- ウ 北海道情報大学
- エ 北翔大学・北翔大学短期大学部

② 観光モニタリングツアー実施状況

- ・日 時：平成30年9月5日（水）～7日（金）2泊3日
- ・参加者：北海道情報大学 5名
- ・内 容：観光名所・施設見学、陶芸体験、農業収穫体験など  
(北海道胆振東部地震のため、一部日程を変更して実施)

2 (株)芦別振興公社の所有財産の取得

(1) 土地購入

- ① 価格：895,293円
- ② 面積：12,306.0㎡

(2) 家屋

- ① 価格：無償譲渡
- ② 内訳：作業員詰所及び車庫等 6棟

(3) 償却資産及び備品等

- ① 価格：無償譲渡（家屋の老朽化等により発生する将来的な除却費用が償却資産と備品を購入した場合の合計額に相当するので相殺処理とした。）
- ② 内訳：作業用車両、芦別物産センター厨房機器、乗用草刈機、冷凍ストッカー、消耗機材等

次項へ続く

< 事務事業評価結果 >

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	B	1点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	A	2点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続                      B 見直し                      C 廃止・終了			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費																	
事務事業名	陶芸センター管理運営業務																					
決算額(円)	財源内訳(円)																					
7,416,436	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																	
				562,517	6,853,919																	
事業目的	陶芸品の制作加工を地場産業として育成し、その制作活動を通じて市民の生活文化の向上を図るため、施設の適正な管理・運営を行う。																					
事業内容及び成果	<p>芦別市陶芸センターの適正な管理・運営</p> <p>(1) 陶芸センターの管理運営</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>日数・人数</td> </tr> <tr> <td>開館日数</td> <td>306日</td> </tr> <tr> <td>陶芸利用者</td> <td>1,016人</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>957人</td> </tr> </table> <p>(2) 陶芸講座の開設</p> <table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>講座開設数</td> <td>受講者数</td> </tr> <tr> <td>初級講座</td> <td>52回</td> <td>延 249人</td> </tr> <tr> <td>中級講座</td> <td>51回</td> <td>延 411人</td> </tr> </table>					区 分	日数・人数	開館日数	306日	陶芸利用者	1,016人	見学者	957人	区 分	講座開設数	受講者数	初級講座	52回	延 249人	中級講座	51回	延 411人
区 分	日数・人数																					
開館日数	306日																					
陶芸利用者	1,016人																					
見学者	957人																					
区 分	講座開設数	受講者数																				
初級講座	52回	延 249人																				
中級講座	51回	延 411人																				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	B	1点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	B	1点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	8点
総合判定	A 継続 <b>B 見直し</b> C 廃止・終了			
備考	スターライトホテル等の指定管理者である北海道ホテル&リゾート(株)が令和元年度から陶芸センターの指定管理者となったため、ホテル内での陶芸センターの周知等PRによる利用者の増加や、施設の設置効果が高まるよう、新たな指定管理者と連携し事業内容や周知宣伝内容を検討する。			



款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費
事務事業名	健民センター園地管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
13,420,837	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				149,824	13,271,013
事業目的	市民及び観光客等の保健休養地として整備し、観光客誘致の促進及び地域の活性化を図る。				
事業内容及び成果	健民センター園地の適正な管理・運営を図るため、管理業務を委託した。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費																							
事務事業名	健民センターオートキャンプ場管理運営業務																											
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																											
5,756,376	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																							
				1,553,570	4,202,806																							
事業目的	市民及び観光客等のレクリエーション施設として管理運営し、観光客誘致の促進と地域活性化を図る。																											
事業内容及び成果	健民センターオートキャンプ場施設の安全管理と環境整備 ① 開設日数等 <table border="1" data-bbox="240 636 727 844"> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>日数・人員</th> </tr> <tr> <td colspan="2">開設日数</td> <td>87日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">利用者</td> <td>大人</td> <td>1,108人</td> </tr> <tr> <td>子供</td> <td>572人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,680人</td> </tr> </table> ② サイト別利用状況 <table border="1" data-bbox="240 922 1155 1131"> <tr> <th>サイト名</th> <th>利用人員</th> </tr> <tr> <td>キャンピングカーサイト</td> <td>173人 (大人 123人 子供 50人)</td> </tr> <tr> <td>スタンダードカーサイト</td> <td>785人 (大人 547人 子供 238人)</td> </tr> <tr> <td>フリーテントサイト</td> <td>722人 (大人 438人 子供 284人)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>延1,680人 (大人 1,108人 子供 572人)</td> </tr> </table>					区 分		日数・人員	開設日数		87日	利用者	大人	1,108人	子供	572人	合計	1,680人	サイト名	利用人員	キャンピングカーサイト	173人 (大人 123人 子供 50人)	スタンダードカーサイト	785人 (大人 547人 子供 238人)	フリーテントサイト	722人 (大人 438人 子供 284人)	合計	延1,680人 (大人 1,108人 子供 572人)
区 分		日数・人員																										
開設日数		87日																										
利用者	大人	1,108人																										
	子供	572人																										
	合計	1,680人																										
サイト名	利用人員																											
キャンピングカーサイト	173人 (大人 123人 子供 50人)																											
スタンダードカーサイト	785人 (大人 547人 子供 238人)																											
フリーテントサイト	722人 (大人 438人 子供 284人)																											
合計	延1,680人 (大人 1,108人 子供 572人)																											

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	B	1点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	B	1点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができない	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	B	1点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	B	6点
総合判定	A 継続      B 見直し      C 廃止・終了			
備考	なお、行財政改革の一環として、平成30年度をもって廃止した。			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費
事務事業名	滝里湖オートキャンプ場管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
31,566,989	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
	19,334,500			12,010,547	221,942
事業目的	市民及び観光客等のレクリエーション施設として管理運営し、観光客誘致の促進と地域活性化を図る。				
事業内容及び成果	滝里湖オートキャンプ場施設の安全管理と環境整備				
	(1) オートキャンプ場管理業務				
	① 開設日数等				
	区分	日数・人員			
	開設日数	125日			
利用者	大人	3,777人			
	子供	1,350人			
	合計	5,127人			
	② サイト別利用状況				
	サイト名	利用人員			
	キャンピングカーサイトA	299人(大人 222人 子供 77人)			
	スタンダードカーサイトB	1,380人(大人1,000人 子供 380人)			
	スタンダードカーサイトC	1,381人(大人 993人 子供 388人)			
	二輪車等専用フリーサイト	79人(大人 61人 子供 18人)			
	コテージ(6人用)	869人(大人 645人 子供 224人)			
	コテージ(8人用)	1,119人(大人 856人 子供 263人)			
	合計	延5,127人(大人 3,777人 子供 1,350人)			
	(2) 滝里ダム防災施設(旧滝里ダム資料館)維持管理業務委託				
	開設日数等				
	区分	日数・人員			
	開設日数	186日			
利用者	大人	3,740人			
	子供	1,399人			
	合計	5,139人			
	(3) 滝里湖オートキャンプ場修繕内容				
	・ 外灯・ポール灯修繕 ほか				

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続                      B 見直し                      C 廃止・終了			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費																					
事務事業名	健民センター管理運営業務																									
決算額(円)	財源内訳(円)																									
98,632,732	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																					
			81,400,000	540	17,232,192																					
事業目的	市民及び観光客の保健休養地として、諸施設の適正な管理・運営により、本市観光産業の振興を図る。																									
事業内容及び成果	<p>健民センター施設の安全管理と環境整備</p> <p>(1) 健民センター施設整備事業</p> <p>① 星遊館改修事業</p> <p>■事業期間／平成30年度から令和元年度まで(継続費設定)</p> <p>■工事費／68,153,670円(全体契約額492,447,600円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事／機械棟新設 1棟、浴室・脱衣室及び露天風呂改修、屋根屋上防水ほか</li> <li>・電気設備工事／機械棟内部設備、浴室・脱衣室等LED化ほか</li> <li>・機械設備工事／熱交換器等旧設備の撤去及び更新、配管新設、冷房設備新設ほか</li> </ul> <p>■工事監理業務委託料／1,292,400円(全体契約額6,264,000円)</p> <p>② 旧芦別温泉棟除却事業</p> <p>■工事費／11,988,000円</p> <p>(2) 健民センター修繕内容</p> <p>① スターライトホテル駐車場排水補修修繕</p> <p>② スターライトホテル消防用設備修繕</p> <p>③ 星遊館ハウ酸泉給水加圧ユニット用ポンプ取替修繕</p> <p>④ 木質チップボイラー炉内火格子交換修繕 ほか</p> <p>(3) 施設別利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用人員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別温泉</td> <td>54,119人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スターライトホテル</td> <td>23,781人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国民宿舎</td> <td>8,742人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>星遊館</td> <td>80,989人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>油谷体育館</td> <td>9,871人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>焼肉ガーデン</td> <td>3,214人</td> <td>開設期間 5月1日(月)～10月31日(火)</td> </tr> </tbody> </table>					施設名	利用人員	備考	芦別温泉	54,119人		スターライトホテル	23,781人		国民宿舎	8,742人		星遊館	80,989人		油谷体育館	9,871人		焼肉ガーデン	3,214人	開設期間 5月1日(月)～10月31日(火)
施設名	利用人員	備考																								
芦別温泉	54,119人																									
スターライトホテル	23,781人																									
国民宿舎	8,742人																									
星遊館	80,989人																									
油谷体育館	9,871人																									
焼肉ガーデン	3,214人	開設期間 5月1日(月)～10月31日(火)																								

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	B	1点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A 継続</span> <span>B 見直し</span> <span>C 廃止・終了</span> </div>			
備考	<p>なお、今後も指定管理者である北海道ホテル&amp;リゾート(株)と連携して利用者の増加に努めるとともに、星遊館については、老朽化に伴う大改修を行い、令和元年12月下旬のリニューアルオープンを目指す。</p> <p>また、温泉経営の効率化を図る観点及び行財政改革を進めるにあたり、令和元年度をもって芦別温泉を廃止する。</p>			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費
事務事業名	国設芦別スキー場管理運営業務				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
21,429,212	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				6,101,592	15,327,620
事業目的	スキー場の整備・管理運営を行い、市民及び観光客のレクリエーションの場の確保と観光振興を図る。				
事業内容及び成果	<p>国設芦別スキー場の適正な管理・運営</p> <p>(1) 国設芦別スキー場修繕内容</p> <p>① 圧雪車修繕</p> <p>② 第1ペアリフト支えい索切詰修繕 ほか</p> <p>(2) 国設芦別スキー場利用状況</p> <p>① 開設期間 平成30年12月29日(土)～平成31年3月17日(日)</p> <p>② 開設日数 70日</p> <p>③ 利用者 63,777人</p> <p>(3) 観光施設誘客事業</p> <p>① 名 称 冬の3大観光施設コラボキャンペーン</p> <p>② 実施主体 芦別市、(株)芦別振興公社、北海道ホテル&amp;リゾート(株)</p> <p>③ 実施期間 平成30年12月25日(土)～平成31年3月31日(日)</p> <p>④ 特典内容 ・国設芦別スキー場リフト券 50%割引等</p> <p>・星遊館入館料 800円を500円に割引</p> <p>・道の駅スタープラザ芦別 レストラン10%割引、売店5%割引</p> <p>⑤ 利用件数 ・国設芦別スキー場 172件</p> <p>・星遊館 636件</p> <p>・道の駅スタープラザ芦別 271件</p>				

次項へ続く





款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光施設管理費																						
事務事業名	道の駅等管理運営業務																										
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																										
29,176,164	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																						
				748,740	28,427,424																						
事業目的	道の駅の整備、管理・運営を行い、市民及び観光客に対するサービスの提供により地域活性化を図る。																										
事業内容及び成果	<p>1 道の駅連絡会との連携、施設の有効活用 関係団体との連携 北海道地区「道の駅」連絡会との連携</p> <p>2 緑地等管理中央センターの適正な管理・運営</p> <p>(1) 観光物産センター利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">入館者数</th> <th colspan="2">目的別利用状況</th> <th rowspan="2">営業 日数</th> <th colspan="2">1 日 平 均</th> <th colspan="2">加 工 室</th> </tr> <tr> <th>レストラン</th> <th>売 店</th> <th>レストラン</th> <th>売 店</th> <th>件 数</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>114,307人</td> <td>62,936食</td> <td>51,371人</td> <td>362日</td> <td>174食</td> <td>142人</td> <td>130件</td> <td>517人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 修繕内容</p> <p>① 道の駅木製遊具修繕(木製コンビネーション)</p> <p>② 観光物産センター厨房床修繕 ほか</p> <p>3 「産直交流うまいもんフェア」の開催(株芦別振興公社(指定管理者)自主事業) 道の駅「スタープラザ芦別」及び道の駅「しらぬか恋問」にて芦別市及び白糠郡白糠町の特産品即売会を行い、産地間交流を深め、お互いの道の駅の集客・販路の拡大、売上向上を図った。</p> <p>① 「産直交流うまいもんフェア i n 白糠」 開催日時：平成30年8月11日(土)午前10時～午後6時 平成30年8月12日(日)午前 9時～午後3時</p> <p>② 第2回「産直交流うまいもんフェア」 開催日時：平成30年10月27日(土)～28日(日) 午前9時～午後4時</p> <p>4 「ハロウィン i n 道の駅」の開催(一社)芦別観光協会自主事業) 地域活性化と道の駅に興味を持つ人を増やすことを目的とし、かぼちゃランタンによる道の駅のライトアップやイベント用特製フレームで写真撮影した人限定で道の駅レストランのワンドリンク無料キャンペーンなどを行った。 開催日時：平成30年10月26日(金)～31日(水) 午後4時～午後6時30分</p>					入館者数	目的別利用状況		営業 日数	1 日 平 均		加 工 室		レストラン	売 店	レストラン	売 店	件 数	人 数	114,307人	62,936食	51,371人	362日	174食	142人	130件	517人
入館者数	目的別利用状況		営業 日数	1 日 平 均			加 工 室																				
	レストラン	売 店		レストラン	売 店	件 数	人 数																				
114,307人	62,936食	51,371人	362日	174食	142人	130件	517人																				

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト縮減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	5 消費者対策費																																																																												
事務事業名	消費者対策事業																																																																																
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																																																																
2,038,485	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																												
		803,520			1,234,965																																																																												
事業目的	市民が安全・安心な暮らしができるように、暮らしに役立つ情報等を提供することを目的とする。																																																																																
事業内容及び成果	<p>悪質な詐欺等の被害を未然に防ぐため、暮らしに役立つ情報を提供した。</p> <p>(1) 各種講座・会議の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>行 事</th> <th>開 催 期 日</th> <th>場 所</th> <th>対 象 者</th> <th>開催回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域を回るくらしの講座</td> <td>通 年</td> <td>市 内</td> <td>一般市民</td> <td>8回</td> <td>212人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 消費生活相談情報紙の発行</p> <p>① 目 的 消費者(市民)の皆さんが詐欺被害に遭わないよう未然防止を図る</p> <p>② 発行頻度 2ヵ月に1回(偶数月)</p> <p>③ 発行方法 広報あしべつ配布時に町内会回覧</p> <p>(3) 振り込み詐欺等被害防止に係る街頭啓発</p> <p>① 目 的 市民が振り込み詐欺等の被害に遭わないよう未然防止を図る</p> <p>② 実 施 日 年金支給日(偶数月の15日【15日が土・日曜日、祝祭日の場合は前日】)</p> <p>③ 実施内容 芦別警察署及び芦別市防犯協会と連携し、街頭(市内銀行前)にて、振り込み詐欺等被害防止啓発グッズ等を市民に配布</p> <p>(4) 消費生活相談業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>件数</th> <th>内 容</th> <th>件数</th> <th>内 容</th> <th>件数</th> <th>内 容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商品一般</td> <td>23</td> <td>車両・乗り物</td> <td>0</td> <td>役務一般</td> <td>0</td> <td>内職・副業・相場</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>食料品</td> <td>3</td> <td>土地・建物・設備</td> <td>0</td> <td>金融・保険サービス</td> <td>1</td> <td>他の相談</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>住居品</td> <td>2</td> <td>クリーニング</td> <td>0</td> <td>運輸・通信サービス</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>光熱水品</td> <td>3</td> <td>レンタル・リース・貸借</td> <td>0</td> <td>教育サービス</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被服品</td> <td>1</td> <td>工事・建設・加工</td> <td>3</td> <td>教養・娯楽サービス</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健衛生品</td> <td>1</td> <td>修理・補修</td> <td>0</td> <td>保健・福祉サービス</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教養娯楽品</td> <td>3</td> <td>管理・保管</td> <td>0</td> <td>他の役務</td> <td>0</td> <td>合計</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 北海道消費者行政推進事業補助金の活用により実施した啓発事業</p> <p>① 「振り込み詐欺被害防止啓発用床マット」の作成及び寄贈 市民が振り込み詐欺の被害に遭わないよう未然防止を図るため、「振り込み詐欺被害防止啓発用床マット」を作成し、市内6金融機関及び8郵便局に寄贈した。</p> <p>② 「訪問販売・訪問買取お断りステッカー」の作成及び配布 強引な訪問販売や訪問買取による被害防止を図るため、「訪問販売・訪問買取お断りステッカー」を作成し、本市地域包括支援センター及び市内居宅支援事業所の協力を得て、独居高齢者や認知症高齢者等のステッカーを必要とする世帯へ配布したほか、「地域を回るくらしの講座」等において配布した。</p>					行 事	開 催 期 日	場 所	対 象 者	開催回数	参加者	地域を回るくらしの講座	通 年	市 内	一般市民	8回	212人	内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数	商品一般	23	車両・乗り物	0	役務一般	0	内職・副業・相場	0	食料品	3	土地・建物・設備	0	金融・保険サービス	1	他の相談	0	住居品	2	クリーニング	0	運輸・通信サービス	10			光熱水品	3	レンタル・リース・貸借	0	教育サービス	1			被服品	1	工事・建設・加工	3	教養・娯楽サービス	0			保健衛生品	1	修理・補修	0	保健・福祉サービス	0			教養娯楽品	3	管理・保管	0	他の役務	0	合計	51
行 事	開 催 期 日	場 所	対 象 者	開催回数	参加者																																																																												
地域を回るくらしの講座	通 年	市 内	一般市民	8回	212人																																																																												
内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数																																																																										
商品一般	23	車両・乗り物	0	役務一般	0	内職・副業・相場	0																																																																										
食料品	3	土地・建物・設備	0	金融・保険サービス	1	他の相談	0																																																																										
住居品	2	クリーニング	0	運輸・通信サービス	10																																																																												
光熱水品	3	レンタル・リース・貸借	0	教育サービス	1																																																																												
被服品	1	工事・建設・加工	3	教養・娯楽サービス	0																																																																												
保健衛生品	1	修理・補修	0	保健・福祉サービス	0																																																																												
教養娯楽品	3	管理・保管	0	他の役務	0	合計	51																																																																										

次項へ続く

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	10点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続 <input type="checkbox"/> B 見直し <input type="checkbox"/> C 廃止・終了			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 カナディアンワールド費																														
事務事業名	カナディアンワールド公園管理運営業務																																		
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																		
13,852,803	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
				849,629	13,003,174																														
事業目的	適切な施設等の維持管理により、魅力的な施設として集客を図る。																																		
事業内容及び成果	<p>カナディアンワールド公園の適切な維持管理</p> <p>(1) 修繕内容 カナディアンワールド公園トラクター修繕 ほか</p> <p>(2) 利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th colspan="5">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開園期間</td> <td>175日間</td> <td colspan="4">4月28日(土)～10月21日(日)</td> </tr> <tr> <td>入園者数</td> <td>12,970人</td> <td>4月 470人</td> <td>5月 2,199人</td> <td>6月 1,831人</td> <td>7月 2,143人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>8月 2,369人</td> <td>9月 2,508人</td> <td>10月 1,450人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イベント等</td> <td colspan="5">赤毛のアン祭り 平成30年9月30日(日) 午前10時～午後3時</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	内 容					開園期間	175日間	4月28日(土)～10月21日(日)				入園者数	12,970人	4月 470人	5月 2,199人	6月 1,831人	7月 2,143人			8月 2,369人	9月 2,508人	10月 1,450人		イベント等	赤毛のアン祭り 平成30年9月30日(日) 午前10時～午後3時				
区 分	内 容																																		
開園期間	175日間	4月28日(土)～10月21日(日)																																	
入園者数	12,970人	4月 470人	5月 2,199人	6月 1,831人	7月 2,143人																														
		8月 2,369人	9月 2,508人	10月 1,450人																															
イベント等	赤毛のアン祭り 平成30年9月30日(日) 午前10時～午後3時																																		

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要(2点) B どちらかといえば必要(1点) C 必要ではない(0点)	B	1点
2	重点事業との関連性	A 重点事業(2点) B 一般事業(1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きい	A 影響は大きい(2点) B 影響は小さい(1点) C 影響はない(0点)	B	1点
4	緊急性	A 緊急性は高い(2点) B 緊急性は低い(1点)	B	1点
5	他の事業との統合や民間委託等ができないか	A 検討の余地はない(2点) B 検討の余地がある(1点) C 可能である(0点)	B	1点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない(2点) B 余地がある(1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6～9点=B、5点以下=C)	B	7点
総合判定	A 継続                      B 見直し                      C 廃止・終了			
備考	なお、行財政改革を進めるにあたり、令和元年度をもって施設の老朽化が著しいカナディアンワールド公園を閉園する。			

款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 カナディアンワールド費
事務事業名	株式会社星の降る里芦別の債務弁済協定調停に基づく償還				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
170,997,249	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					170,997,249
事業目的	株式会社星の降る里芦別の債務弁済協定調停の決定に基づき、各金融機関に対する債務を市が直接償還を行う。				
事業内容及び成果	株式会社星の降る里芦別の債務弁済協定調停に基づき各金融機関に対する債務の償還を行った。				

<事務事業評価結果>

1	市が実施する必要がある事務事業か	A 必要 (2点) B どちらかといえば必要 (1点) C 必要ではない (0点)	A	2点
2	重点事業との関連性	A 重点事業 (2点) B 一般事業 (1点)	B	1点
3	事務事業を休止・廃止した場合の影響は大きいか	A 影響は大きい (2点) B 影響は小さい (1点) C 影響はない (0点)	A	2点
4	緊急性	A 緊急性は高い (2点) B 緊急性は低い (1点)	A	2点
5	他の事業との統合や民間委託等はできないか	A 検討の余地はない (2点) B 検討の余地がある (1点) C 可能である (0点)	A	2点
6	コスト削減の余地	A 現状の手法しかない (2点) B 余地がある (1点)	A	2点
計		(10点以上=A、6~9点=B、5点以下=C)	A	11点
総合判定	<input checked="" type="checkbox"/> A 継続                      B 見直し                      C 廃止・終了			